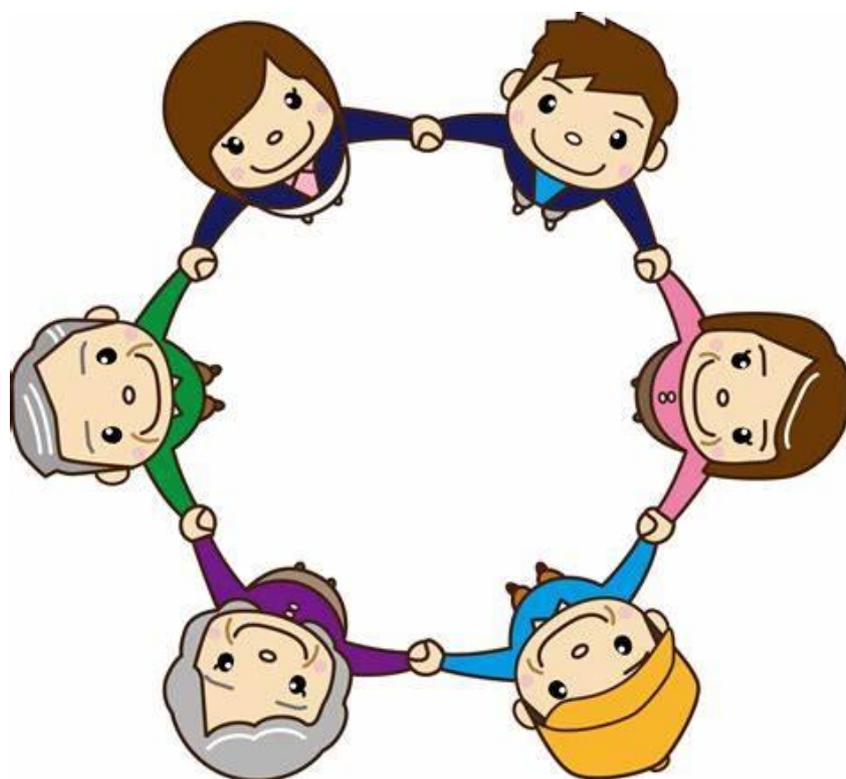


# 第3次南郷地区地域

## 福祉活動計画

(令和7~11年度:5カ年計画)



みんなで築き、守る“南郷つながり”

令和7年3月

南郷地区福祉会

# 目次

## 第3次南郷地区地域福祉活動計画

「みんなで築き、守る“南郷つながり”」の策定にあたり……………1

### I はじめに

●福祉社会について……………2

●地区別地域福祉活動計画について

●計画の期間

●社会福祉協議会について

### II 南郷地区の地域福祉活動の課題

●第2次活動計画の評価と課題……………3

●南郷地区の現状認識

### III 第3次南郷地区地域福祉活動計画の理念と基本方針

●基本理念……………7

●基本方針

### IV 実施計画

●実施計画……………10

第3次南郷地区地域福祉活動計画策定委員会名簿……………15

第3次南郷地区地域福祉活動計画策定委員会スケジュール……………16

## 第3次南郷地区地域福祉活動計画

「みんなで築き、守る“南郷つながり”」の策定にあたり

南郷地区福祉会

会長 中村 弘志

本会は平成元年に発足し、37年が経過いたしました。

発足のきっかけとなったのは単身高齢者の孤独死でした。本会は各地域での「介護予防いきいき交流会」、高齢者の集い「わくわく交流会」、世代間交流の一助となっている小学校3年生とひと時を共に過ごす「七夕祭り」等の活動を行っています。

ところが、令和2年には年初より世界中にコロナ感染症が蔓延し、人・人の接触が難しくなる事態となり、本会の活動にも多大な影響を与えました。その3年後の令和5年、コロナ感染症が第5類に指定され、コロナ禍前に実施していた事業・旧行事の復活を目指し、約束事を一つ一つ確認しながら再構築して参りました。

本会は、第1次計画からの柱である基本理念と基本方針を継承しつつ、南郷地区の地域性に見合った計画としました。策定された本計画より地域福祉活動への理解を深めていただき「みんなで築き、守る“南郷つながり”」を継承していこうと思います。

なお、策定にあたっては、宗像市社会福祉協議会や南郷地区コミュニティ運営協議会のご支援をいただき、特に策定委員会の皆さんには毎回熱心な検討を賜り、誠にありがとうございました。

## I はじめに

### ■福祉社会について

- 昭和63年4月に自由ヶ丘地区に本市で初めての福祉社会「自由ヶ丘地区福祉社会」が発足しました。南郷地区福祉社会（以下「地区福祉社会」という。）は、平成元年11月に発足しました。
- 福祉社会は、自分の住んでいる地域を住民の手で（＝参画・協働）誰もが生活しやすいように（＝共生社会）活動を行う（＝福祉力を高める）住民の自主的な組織です。また、自治会単位（小地域）の福祉社会を「小地域福祉社会」、地区（コミュニティ）単位の福祉社会を「地区福祉社会」といいます。現在「地区福祉社会」は、市内13地区すべての地区に結成されています。

### ■地区別地域福祉活動計画について

- 地区別地域福祉活動計画は、「地区福祉社会」が行う地域福祉活動の目的を明確にし、目的を達成するため、取り組みを計画的・効率的・効果的に推進するためのものです。
- 南郷地区では、コミュニティ運営協議会健康福祉部会と地区福祉社会が一体となっています。第3次南郷地区地域福祉活動計画の策定にあたり、令和6年度に策定委員会を設け、令和7年度から11年度までの5か年計画を策定しました。

### ■計画の期間

- この第3次活動計画の期間は、令和7年度から11年度までの5か年とします。必要が生じれば、見直しをすることがあります。
- 計画書については民生委員児童委員や自治会・隣組長へダイジェスト版を配布・回覧し、住民に対し、南郷地区の地域福祉活動への周知を図ります。

### ■社会福祉協議会について

- 社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている「社会福祉法人」です。また社会福祉協議会は国内すべての自治体（都道府県・市区町村）に設置されており、活動の主体が地域福祉であることから、極めて高い「公共性」が特徴であり、福祉社会の活動にも大きく関わっています。

## Ⅱ 南郷地区の地域福祉活動の課題

### ① 第2次活動計画の評価と課題

第2次活動計画の進捗状況や評価、課題について策定委員会にて検討を行いました。

#### 1. みんなで人のつながりを大切にしよう

##### ■見守りネットワーク活動の推進

###### 【評価】

民生委員児童委員が定期的な訪問を行っており、地域で開催している介護予防いきいき交流会・地域カフェが見守りの場として活用されている。

###### 【課題】

自治会・民生委員児童委員・福祉協力員等と連携し、地域での声かけ・情報共有を通して隣近所での「顔の見える関係づくり」を進める必要がある。

##### ■福祉協力員制度・役割の明確化

###### 【評価】

令和6年度現在で福祉協力員は16名。民生委員児童委員と福祉協力員が連携し地域福祉活動を行っているが、福祉協力員制度・役割については明確化されていない。

###### 【課題】

定期的に福祉協力員会・研修を開催して福祉協力員制度・役割について明確化し、民生委員児童委員と福祉協力員の協力体制について検討する必要がある。

##### ■介護予防いきいき交流会の充実

###### 【評価】

令和6年度現在、10地域で介護予防いきいき交流会が定期的で開催されており、地域の見守りの場・つながりの場となっている。

###### 【課題】

高齢者の見守りの場のさらなる充実をはかり、介護予防いきいき交流会には「どなたでも」参加できることを周知する必要がある。

## 2. みんなで世代のつながりを大切にしよう

### ■多様な世代の人々とのつながりの創造

【評価】

地区では学校（園）と連携して、世代間交流を実施している。

【課題】

地域により世代間交流の実施に差があり、「南郷つながり」を深めるために自治会や地域福祉関連団体に働きかける必要がある。

### ■次代を担う人材の育成

【評価】

次代を担う人材も不足しているが、役員の担い手不足がひっ迫した課題となっている。

【課題】

地域福祉活動へ関心を持ってもらうため、地域での声かけ・情報共有や住民への発信を行い地域福祉活動への理解者・協力者を増やす必要がある。

## 3 みんなで地域のつながりを大切にしよう

### ■地域課題や住民の福祉ニーズを把握しよう

【評価】

主な地域での課題や住民の福祉ニーズについて、地区全体で共有できていない。

【課題】

介護予防いきいき交流会・地域カフェ等での高齢者との交流の中で、地域での課題・困りごとや福祉ニーズを把握し、対策を検討する必要がある。

### ■地域福祉推進団体と連携を図ろう

【評価】

自治会・コミュニティ運営協議会・社会福祉協議会と連携し、南郷地区の健康づくりや地域福祉活動を行っている。

【課題】

地域のつながりを深めるため、自治会の会合へ福祉協力員が参加できるよう働きかけ、自治会と福祉協力員の連携体制を充実する必要がある。

## ②南郷地区の現状認識

第3次南郷地区地域福祉活動計画策定委員会において福祉座談会を行い、【南郷地区のいいところ・自慢できるところ】や【気になるところ・改善したいところ】について話し合いました。

### 【南郷地区のいいところ・自慢できるところ】（抜粋）

#### ■人

- ・人と人との関係、付き合いが良い
- ・挨拶がよくできている
- ・近所のつながり、結びつきが強い
- ・人が優しく助け合いをしている
- ・思いやりがある
- ・協力体制がある
- ・子どもたちが声をかけてくれる

#### ■住環境

- ・静か、自然が豊か、川が綺麗
- ・住みやすい

#### ■取り組み

- ・文化祭、南郷まつり、どんと焼き
- ・バスハイク、南郷10キロウォーク
- ・3年生との交流である七夕会
- ・防災士と自治会、民生委員、福祉協力員が連携



### 【南郷地区の気になるところ・改善したいところ】（抜粋）

#### ■人

- ・核家族化し、多世代交流の機会が少ない
- ・人間関係が希薄化している
- ・役員のなり手がいない
- ・人通りがない、挨拶がない
- ・長く住む人が少しずつ減っている

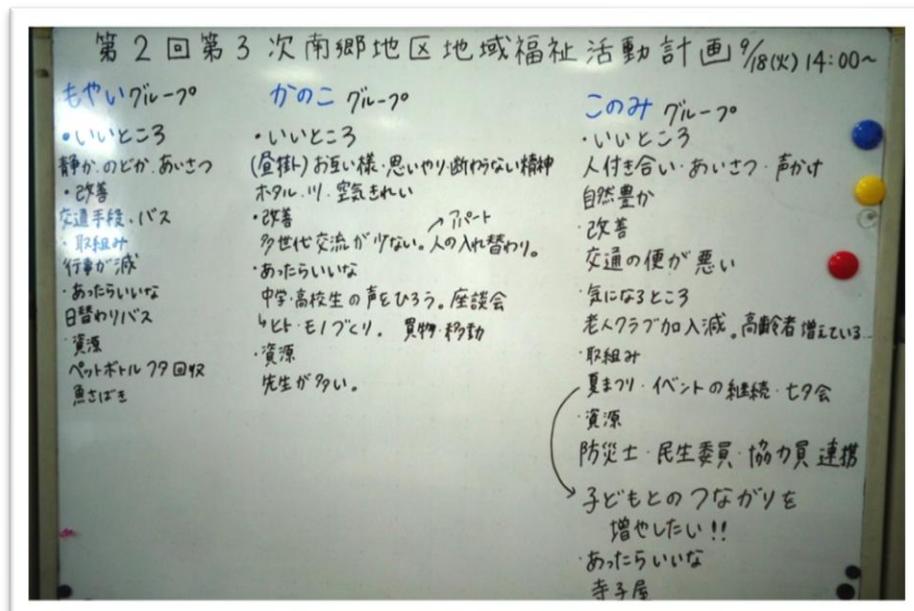
- ・老人クラブ数が減少（老人クラブ連合会への加入数が減少）
- ・若い世代への継承

## ■住環境

- ・交通の便が悪い（西鉄バスがなくなった）
- ・バス、交通機関がない
- ・地域のニーズに合わせた移動手段がない地域が多い
- ・コミュニティバスの利用（買い物ができるようにしてほしい）

## 【こんな取り組みがあったらいいな】（抜粋）

- ・民生委員児童委員と福祉協力員が連携した地域づくり
- ・各自治会での子どもとつながれる七夕会等の行事
- ・子ども寺子屋
- ・コミュニティバスを地域ごとに曜日を決めて運行（買い物などに対する利便性を高める）
- ・宮田カフェ、野坂カフェの取り組みを他地域にも広げる
- ・高齢者向けのスマホ教室
- ・学生と一緒に地域の将来を考える座談会
- ・地域の将来を担う人材の発掘（対象は中学生以上）



## Ⅲ 第3次南郷地区地域福祉活動計画の理念と基本方針

### ■ 基本理念

# みんなで築き、守る“南郷つながり”

※第3次南郷地区地域福祉活動計画では、第2次活動計画における基本理念・基本方針を継承し、南郷地区の地域性にあわせて実施していきます。

### ■ 基本方針

#### 1. みんなで人のつながりを大切にしよう

●地域福祉活動の基礎は、地域での人と人との顔の見える関係づくりです。声かけ・情報共有を行い、地域住民同士のつながりを深めていきましょう。

#### 2. みんなで世代のつながりを大切にしよう

●“南郷つながり”は多世代の人々とのつながりも含んでいます。これからも“南郷つながり”をつないでいくために、地域福祉活動への理解者・協力者を増やしていきましょう。

#### 3. みんなで地域のつながりを大切にしよう

●南郷地区は健康福祉部会と地区福祉会が一体の活動を行っています。地域性にあわせた効率的・効果的な活動を推進していきましょう。

## 南郷地区ってどんなところ？

福岡市と北九州市の中間地点である宗像市の南側に位置する。  
以前は南郷村として農業中心の地区であったが、現在は国道3号線が地区内を貫通しており様々な店舗があるため、多くの人で賑わっている地区である。

## 南郷地区の状況

- 人口 5,607人
  - 世帯数 2,734世帯
  - 高齢化率 35.9%
- 【令和6年12月末時点】



## 人のつながりを大切にしよう

### 具体的な取り組み

#### ① 見守りネットワーク活動を推進しよう

- 👉 地域での声かけ・情報共有を通して、民生委員児童委員・福祉協力員等と連携します
- 👉 自治会へはたらきかけ、隣近所での“顔の見える関係づくり”をすすめます

#### ② 民生委員児童委員と福祉協力員の協力体制を検討しよう

- 👉 民生委員児童委員と福祉協力員にはたらきかけ、民生委員児童委員と福祉協力員との協力体制を検討します
- 👉 定期的に福祉協力員会を開き、福祉協力員の協力体制の充実をはかります

#### ③ 介護予防いきいき交流会・地域カフェを充実しよう

- 👉 高齢者の社会参加を促す介護予防いきいき交流会・地域カフェ等の開催を通して、見守りの場のさらなる充実をはかります
- 👉 介護予防いきいき交流会・地域カフェ等には「どなたでも」参加できることを周知します

## 世代のつながりを大切にしよう

### 具体的な取り組み

#### ①多世代の人々とのつながりを深めよう

- 👉引き続き世代間交流を実施し、子どもから高齢者までのつながりを深めます
- 👉学校の福祉学習への協力を検討します



#### ②地域福祉活動への理解者・協力者を増やそう

- 👉現在行っている地域福祉活動を継続し、内容を充実します
- 👉地域福祉活動へ関心を持つ機会をもってもらうため、声かけ・情報共有や住民への発信を行います

## 地域のつながりを大切にしよう

### 具体的な取り組み

#### ①地域での課題や住民の福祉ニーズを把握しよう

- 👉多世代の意見を反映するため、事業参加者へアンケート調査を行い内容の充実をはかります
- 👉介護予防いきいき交流会・地域カフェ等を通し、地域での課題・困りごとや住民の福祉ニーズを把握します

#### ②地域福祉推進団体と連携を図ろう

- 👉自治会・コミュニティ運営協議会・社会福祉協議会等との連携を強化します
- 👉自治会の会合へ福祉協力員の参加をはたらきかけます

## IV 実施計画

「みんなで築き、守る“南郷つながり”」をつくっていくために、具体的にどのようなことをしていけばよいのでしょうか。南郷地区の地域性にあわせて、第2次計画から継続するもの・削るもの・新しいものを含め、基本理念の具体的展開としての今後5年間の実施計画を示します。

### 1. みんなで人のつながりを大切にしよう

#### ■見守りネットワーク活動の推進

目 的	見守りネットワーク活動を推進し、地域で人と人とのつながりを深めていきます。
実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>●見守り活動を中心になっで行う民生委員児童委員・福祉協力員等と連携し、小地域ごとの対象者（単身高齢者・高齢者のみの世帯・障がい者世帯・その他見守りが必要と思われる世帯等）に声をかけ、情報の共有を行います。</li><li>●自治会へ隣組長による外観からの日常的な見守り（郵便物・洗濯物・電気等）や声かけをはたらきかけ、隣近所での「顔の見える関係づくり」をすすめます。また、異変に気付いた際には、民生委員児童委員や自治会長に情報提供を行うことを呼びかけます。</li></ul>

## ■ 民生委員児童委員と福祉協力員の協力体制の検討

目 的	小地域ごとの地域福祉活動を推進するため、民生委員児童委員と福祉協力員の協力体制を検討していきます。
実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>●福祉協力員の役割を明確化し、民生委員児童委員と福祉協力員の協力内容・体制について検討します。</li><li>●福祉協力員へ研修を行い、定期的な会議・研修を開催して協力体制を充実します。</li></ul>

## ■ 介護予防いきいき交流会・地域カフェの充実

目 的	高齢者の介護予防・閉じこもりの防止・見守りネットワーク活動の一環として、介護予防いきいき交流会・地域カフェの開催・充実をはかっていきます。
実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>●地域で見守りの場ともなっている介護予防いきいき交流会・地域カフェの開催をはたらきかけ、高齢者の社会参加を促します。</li><li>●「どなたでも」参加できる介護予防いきいき交流会・地域カフェを地域住民に周知し、地域の要としてさらなる充実をはかります。</li></ul>

## 2. みんなで世代のつながりを大切にしよう

### ■多世代の人々とのつながりを深める

目 的	地域福祉活動を通して子どもから高齢者までの多世代の人々とのつながりを深めていきます。
実施方法	●学校(園)等と連携して子どもから高齢者までの世代間交流を引き続き実施し、「南郷つながり」を深めます。 ●社会福祉協議会・地域福祉推進団体等と連携して、学校の福祉学習への協力を検討します。

### ■地域福祉活動への理解者・協力者を増やす

目 的	地域福祉活動への理解者・協力者を増やし「南郷つながり」を深めていきます。
実施方法	●住民向けの福祉講演会や講座の内容を充実して引き続き実施し、地域福祉活動への理解者・協力者を増やします。 ●地域福祉活動への理解や関心を高めるために、広報誌「もやい」や社会福祉協議会等のSNSを通して、南郷地区の地域福祉活動の情報を発信していきます。

### 3. みんなで地域のつながりを大切にしよう

#### ■地域での課題や住民の福祉ニーズを把握する

目 的	地域課題や福祉ニーズを把握し、地域福祉活動を推進して地域のつながりを深めていきます。
実施方法	●事業参加者（例：バスハイクやセタ会）へのアンケート調査を行い、事業内容の充実をはかります。 ●介護予防いきいき交流会・地域カフェ等での高齢者との交流を通して、地域での課題・困りごとや福祉ニーズを把握し、対策を検討します。

#### ■地域福祉推進団体と連携を図る

目 的	地域福祉推進団体と連携し、「南郷つながり」を深めていきます。
実施方法	●自治会・コミュニティ運営協議会・社会福祉協議会等との連携を強化し、南郷地区の健康づくりや介護予防、地域福祉活動を進めます。

	<p>●自治会の会合へ福祉協力員が参加できるよう働きかけます。自治会と福祉協力員の連携体制を充実して地域のつながりを深めます。</p>
--	---

# 第3次南郷地区地域福祉活動計画 策定委員会名簿

No	選出区分	氏名	備考
1	南郷地区民生委員 児童委員協議会	中村 弘志	福社会会長
2		野田 スミ子	
3		梶谷 ひとみ	
4		中西 とし子	
5		中村 富美子	
6		中村 裕子	
7	福祉協力員会	小島 敦子	
8		武吉 美智子	
9		御厨 香織	
10		金盛 敏江	策定委員会副委員長
11		釜瀬 友子	
12	南郷支部食生活 改善推進会	柴田 陽子	
13		黒瀬 宏美	
14	老人クラブ連合会	八田 征勝	策定委員会委員長
15	南郷地区区長会	中村 孝信	
16	南郷地区コミュニティ 運営協議会	釜瀬 博志	コミュニティ運営協議会会長
17		川島 政美	コミュニティ運営協議会事務局長

## 第3次南郷地区地域福祉活動計画 策定委員会 スケジュール

No.	日時	項目	内容
1	令和6年 8月20日	第1回	概要説明
2	9月17日	第2回	福祉座談会
3	10月15日	第3回	・第1回、第2回振り返り ・第2次計画見直し(1)
4	11月19日	第4回	第2次計画見直し(2)
5	12月17日	第5回	第2次計画見直し(3)
6	令和7年 1月21日	第6回	・計画書(案)説明・内容確認作業 ・意見交換
7	2月18日	第7回	計画書(案)最終確認





# 第3次南郷地区 地域福祉活動計画

(令和7~11年度:5カ年計画)

みんなで築き、守る“南郷つながり”

発行/令和7年3月

作成/南郷地区福社会

編集/社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会  
連絡先/社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 福岡県宗像市久原180番地  
TEL:0940-37-1300  
FAX:0940-37-1393